

# 自衛隊内部文書 「民主主義の危機」

ネット番組 小池氏大いに語る



小池副委員長

日本共産党の小池晃副委員長は11日、インターネット番組「ニュース・オブエド」に出演し、戦争法案などについてアンカーパーソンの上杉隆氏らと語り合いました。

番組では、フリーアナウンサーの吉田照美氏がVTRで「小池さんは内部文書をスクープするなど国会の功労者だ」と語るなど日本共産党が国会審議で暴露した自衛隊内部文書が話題に。上杉氏は「大きなインパクトを与えるものだった」と語りました。

小池氏は、日本共産党が国会で暴露した一連の防衛省・自衛隊の内部文書を紹介。国会と国民を無視して、自衛隊が日米新ガイドライン(軍事協力の指針)や戦争法案の具体化を進めていることが明らかになったと指摘し、「軍事独裁ともいえる状況であり、重大な問題だ」と批判しました。

「とんでもないことだ」と上杉氏。小池氏は「与党の議員ですら知らないことが内部文書には書かれていた。民主主義の危機であり、許してはいけません」と語りました。

番組では、同日、成立した改悪労働者派遣法についても話題になり、小池氏は「生涯ハケン」に道を開く改悪法の問題点を指摘しました。「労働者から見るとこんなにひどい法律はない。9月30日施行で『みなし雇用制度』を骨抜きにするなど、露骨な企業寄りの法律だ」と強調。「労働者の所得が減り消費が冷え込むと、企業経営もマイナスになる。経済の大局に立って経営者も反対すべきだ」との指摘に、上杉氏も「その通りですね」と応じました。